

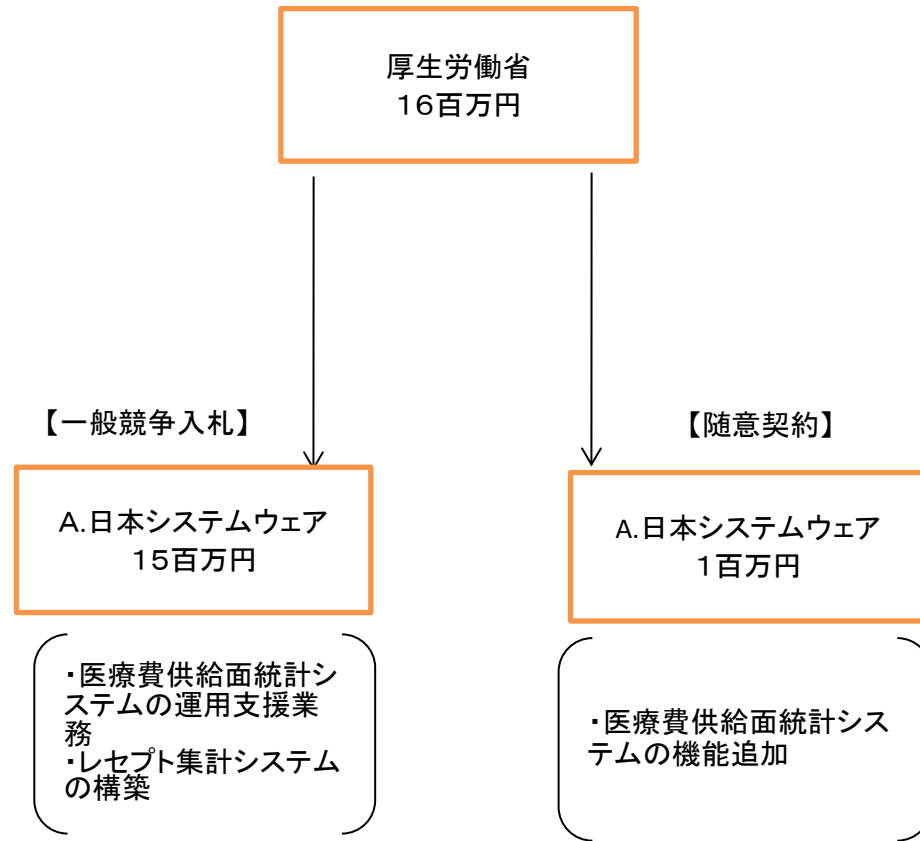
平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	医療費供給面統計システム		担当部局庁	保険局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	-		担当課室	調査課		秋田 倫秀		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-9-1 適正かつ、安定的・効率的な医療保険制度を構築すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	統計法第19条		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療費の動向を把握し、制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療費供給サイドからの医療費データを収集し、体系的に管理することにより、医療機関の種類、規模、性別や制度別、被保険者・被扶養者別等に医療費の動向を分析する。制度改正や診療報酬改定等の医療保険行政の政策決定の際の基礎資料を得る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	66	42	46	63	73	
		補正予算						
		繰越し等						
	計	66	42	46	63	73		
	執行額	37	17	16				
執行率(%)	56	40	35					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	医療費データに基づく医療費動向の集計・分析、公表			種類	2	2	2	2
			達成度	%	100	100	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	医療費データに基づく医療費動向の集計・分析、公表			種類	2	2	2	—
					(2)	(2)	(2)	
単位当たりコスト	8,000,000(円/分析)		算出根拠 X(執行額: 1,600,000円) / Y(2種類)					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	システム開発経費	63	73	医科レセプト集計システムの機能拡充による増				
	計	63	73					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	医療費分析や医療保険各制度の受診状況等の集計・分析を行い、制度改革、診療報酬改定等の企画・立案の資料等に活用。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	本システムにより作成される医療費の動向調査は、統計法上の統計調査（一般統計）となっている。		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	医療機関の医療費の動向を把握し、月報・年報等を取りまとめ公表している。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	システム開発等については、一般競争入札による落札方式より業者を選定している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	一般競争入札による落札方式により、コスト削減に努めている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の適切な遂行について、必要な経費を限定している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		○	システム開発等については、一般競争入札による落札方式より業者を選定しているため。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	見込みに見合った実績となっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	医療費分析や医療保険各制度の受診状況等の集計・分析を行い、制度改革、診療報酬改定等の企画・立案の基礎資料等に活用。 集計・分析結果を厚生労働省のHP及び政府統計の総合窓口（e-Stat）を活用し公表している。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>医療費データに基づく医療費動向の集計・分析については、制度改革や診療報酬改定等の医療保険行政の施策決定の際の基礎資料であるため、今後とも必要な経費である。</p> <p>契約手続きについて一般競争入札を基本として、予算執行の適正化に努めてきたところであり、低価格入札等によって不用率が大きくなっている。今後も法律改正等に伴う各統計・調査システムの開発について、効率化・予算等を重視した開発に取り組む。</p>					
外部有識者の所見						
一般競争入札であっても同じ業者が長く落札する場合にはその理由の分析と改善が必要。（長崎、井出）						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	外部有識者の所見を踏まえ、入札方法のあり方について、検討が必要					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	当該システムについては、一般競争かつ複数社による入札により契約を行っている。 同じ業者が長く落札する場合には、その理由の分析と必要に応じて改善を行ってまいりたい。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	280	平成23年	250	平成24年	216

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位: 百万円)

A. 日本システムウェア			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	医療費供給面統計システムの運用支援業務	5			
雑役務費	レセプト集計システムの構築	10			
雑役務費	医療費供給面統計システムの機能追加	1			
計		16	計		0
C.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費					
雑役務費					
計		0	計		0
D.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
H.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

支出先上位10者リスト

A. 日本システムウェア

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本システムウェア	医療費供給面統計システムの運用支援業務	5	3	59.2%
2	日本システムウェア	レセプト集計システムの構築	10	3	31.2%
3	日本システムウェア	医療費供給面統計システムの機能追加	1	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					